

校長だより

平成22年7月12日
沖縄県立読谷高等学校
校長 與那覇 健勇

～夏休みは二学期からの飛躍のために～

「なつやすみ」「ナツヤスミ」「夏休み」響きがいいですね。今はとっても楽しみで、なにかしら、天下をとったような気分さえなります。これからくる一月以上の休みを直前にして、我々は、あれこれと思いをめぐらせ、無限の可能性を期待してしまいます。

ちやうど、まだ使っていない一万円がそっくりそのまま残っているといた心境ですね。

ところが、夏休みもあと2～3日を残し、二学期を目前にしたときの、あの暗くさびしい気分はどうでしょう。一万円全てを無駄なことに使い切ったときのようなたとえようもないだるさです。昨年を思い出して下さい。後は言わずにおきましょう。

そこで、夏休みの過ごし方を説くよりも、二学期からの「自己レベル」を引き上げるための夏をいかに過ごかきと、皆さん一人一人考えてはどうでしょうか。そうです。夏休みの意義は、二学期からの自分というものです。例えばクラスで、部活で、あるいは自分自身が目指すもので。それらのトップに立っていること。その準備のためにあるんです。夏休みにこんなに勉強したことはなかった。こんなに頑張った夏はなかった。と思えた人は、二学期以降に確かな歩みがあったことを実感できるはずです。

極端な場合を除いて、私たちに時間だけは平等に与えられています。誰にも等しく与えられているこのビッグチャンスを生かすか、つぶすかはあなた自身の手の中にあります。まさに、「タイムイズマネー」です。

例えばクラスによっては、記録的「夏の勉強」ブームに点火し、攻める「夏の陣」にしようと呼びかけている担任もいます。課外講座で頑張る人もいます。私は自分自身の高校時代の経験から「学び漬け」という漬け物に体丸ごと漬かることを勧めます。全く分からなかった苦手な英語の参考書を鉛筆のアンダーラインで真っ黒にした高3の夏を思い出します。「軌跡のノート」の活用で勉強した足跡を刻むのもいいでしょう。英語の長文克服・5文型。二次関数の最大最小。鎌倉新仏教の興り。独特な古文の言い回し。漢文の再読文字。化学のモル濃度。物理の慣性の法則・・・エトセトラ。やることの選択肢も無限に広がっています。

さあ、この夏。あなたを誘惑するあの手、この手に青春を浪費

せず、危険な事件・事故に巻き込まれることなく、充実の夏を過ごして下さい。

二学期から一番いい顔で登校するのが君であることを祈る。